

人権と広報に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
人権課	2012年11月13日から 2012年12月03日まで	1333	861	64%

今回は、人権課と広聴広報課からのアンケートのお願いです。

毎年11月11日から12月10日までの1カ月間は「差別をなくす強調月間」です。

三重県では、人権啓発・教育の実施や人権相談の充実等に、県民の皆さんとともに取り組むことにより、「差別のない、人権が尊重される、明るく住みよい社会」の実現をめざしています。

その一環として、人権に関するアンケートを実施します。

また、人権に関する特集記事を掲載しました三重県広報紙「県政だより みえ」11月号についてもあわせてお聴きします。より良い広報紙としていくため、ご意見、ご提案をいただきたいと思っております。

「強調月間」中の主な人権啓発イベント等については、三重県人権センターのホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/>

※Q11～13については、「県政だより みえ」11月号で実施したアンケートと同内容です。既に「県政だより みえ」11月号を切り取って回答を送付された方、三重県ホームページの「申請・届出等手続きの総合窓口」からご回答いただいた方は、回答不要です。

■ Q1 人権課題への関心について

あなたはどのような人権課題に関心を持っていますか。【複数回答可】

※ 選択肢にあります『患者等』とは、「患者の権利、HIV感染者・エイズ患者、ハンセン病患者、難病患者等」の人権問題をいいます。また、『性的マイノリティ』とは、生物学的な性（からだの性）と性の自己認識（こころの性）が一致しない「性同一性障がい者」、人の性愛がどういった対象に向かうのかを示す「性的指向にかかる同性愛者」、「先天的に身体上の性別が不明瞭な方」などをいいます。

合計	861	
同和問題	328	38.1%
子ども	300	34.8%
女性	271	31.5%
障がい者	477	55.4%
高齢者	228	26.5%
外国人	155	18.0%
患者等	163	18.9%
犯罪被害者等	216	25.1%
インターネットによる人権侵害	306	35.5%
アイヌの人びと	48	5.6%
刑を終えた人・保護観察中の人等	73	8.5%
性的マイノリティ	100	11.6%
ホームレス	91	10.6%

自殺、自死遺族	117	13.6%
ひきこもり	156	18.1%
非正規雇用労働者	172	20.8%
北朝鮮当局による拉致問題	226	26.2%
その他	20	2.3%

■ Q2 人権学習の機会について

あなたは、最近1年間で、以下の啓発イベント等に参加して人権に関して学んだり、知識を得たりした機会がありましたか（国・市町、NPO団体等の活動も含みます）。【複数回答可】

合計	861	
人権に関するイベントやコンサート等への参加	50	5.8%
人権に関する講演会・学習会への参加	141	16.4%
人権標語・ポスター等へ応募	27	3.1%
人権ライブラリー（図書・ビデオ）等の利用	22	2.6%
企画パネル展示の観覧	43	5.0%
新聞、雑誌、インターネット等による人権に関する情報の視聴・収集	168	19.5%
地域やボランティア団体等の活動への参加	52	6.0%
特になかった	549	63.8%
その他	11	1.3%

■ Q3 人権啓発について

あなたは、最近1年間で、以下に掲げる人権に関する啓発等について見たり、聞いたりしたことがありましたか（国・市町、NPO団体等の活動も含みます）。【複数回答可】

合計	861	
駅・ショッピングセンター等での街頭啓発	165	19.2%
人権啓発ポスター・チラシ等の掲示物	365	42.4%
国・県・市町の広報紙による広報	314	36.5%
テレビ・ラジオのスポットCM	265	30.8%
啓発冊子・リーフレット	103	12.0%
人権標語・ポスター等の応募作品の展示物	160	18.6%
スポーツの試合と連携した啓発	20	2.3%
路線バスの車体全面を使った広告	23	2.7%
特になかった	260	30.2%

その他	7	8.8%
-----	---	------

■ Q4 人権学習・啓発のジャンルについて

Q2・Q3でお答えいただいた人権学習や啓発はどのようなジャンルでしたか。該当するものを全てあげてください。Q2・Q3の両方で「特になかった」と答えた方はQ5にお進みください。【複数回答可】

合計	628	
同和問題	289	46.0%
子ども	201	32.0%
女性	164	26.1%
障がい者	280	44.6%
高齢者	127	20.2%
外国人	53	8.4%
患者等	64	10.2%
犯罪被害者等	58	9.2%
インターネットによる人権侵害	120	19.1%
アイヌの人びと	6	1.0%
刑を終えた人・保護観察中の人等	16	2.5%
性的マイノリティ	34	5.4%
その他	21	3.3%

■ Q5 人権侵害について

あなた、またはあなたの家族や友人・知人が、最近1年間で、いじめや虐待、セクシャルハラスメント、ドメスティック・バイオレンス（DV）、差別待遇等の人権侵害を受けた（受けたと感じた）ことがありましたか。

※ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、夫婦や恋人など親密な関係にある、またはあった者からの身体的・心理的暴力などをいいます。

合計	861	
あった	129	15.0%
ない	732	85.0%

■ Q6 人権相談について

Q5で「あった」と答えた方は、そのとき、どこへ（誰に）相談しましたか。

「ない」と答えた方は、もし、あなたが、何らかの人権侵害を受けた場合、どこへ（誰に）相談しますか。以下の項目から選んでください。【複数回答可】

合計	861	
家族や友人、職場の同僚等	487	56.6%
職場の上司、学校の先生、自治会長等	96	11.1%

市町の相談窓口等	257	29.8%
県の人権相談窓口	112	13.0%
地方法務局の相談窓口	53	6.2%
地域の人権擁護委員	48	5.6%
警察	172	20.0%
誰にも相談しない	107	12.4%
その他	52	6.0%

■ Q7 人権尊重社会について (1)

三重県では、「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を發揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。
あなたは、「あなたの人権が尊重されている」と感じていますか。

合計	861	
感じる	83	9.6%
どちらかといえば感じる	296	34.4%
どちらともいえない	264	30.7%
どちらかといえば感じない	75	8.7%
感じない	50	5.8%
わからない	93	10.8%

■ Q8 人権尊重社会について (2)

あなたは、「三重県は人権が尊重されている社会になっている」と感じていますか。

合計	861	
感じる	17	2.0%
どちらかといえば感じる	165	19.2%
どちらともいえない	360	41.8%
どちらかといえば感じない	87	10.1%
感じない	74	8.6%
わからない	158	18.4%

■ Q10 人権尊重社会への取り組みについて

あなたは人権が尊重される社会の実現のために、どのような取り組みが特に重要だと思いますか。【複数回答可】

合計	861	
行政による啓発活動の推進	310	36.0%

企業、事業所の人権研修や社会的責任としての 人権問題に関する取り組み支援	343	39.8%
学校や地域での人権教育の充実	557	64.7%
人権との関わりの深い職業に従事する人の人 権意識高揚	156	18.1%
人権問題に関する相談体制の充実	250	29.8%
人権尊重の視点に立ったさまざまな施策の実 施	174	20.2%
住民やNPO団体等による人権尊重の取り組み 支援	133	15.4%
人権侵害を受けた人に対する救済策充実	256	29.7%
特にない	17	2.0%
わからない	67	7.8%
その他	31	3.6%

■ Q11 「県政だより みえ」の読みやすさ

ここからは「県政だより みえ」についてお聴きします。
あなたは、「県政だより みえ」について、どのように感じていますか。

合計	861	
読みやすい	148	17.2%
ふつう	669	77.7%
読みにくい	44	5.1%

■ Q12 「県政だより みえ」の記事について

「県政だより みえ」11月号の記事の中で、「良い」または「役に立った」と思うものを次の中から選んでくだ
さい。（複数回答可）

合計	861	
表紙	80	9.3%
特集1（知事対談）	154	17.9%
特集2（災害と人権）	174	20.2%
県民カビジョン	41	4.8%
地域医療を守る	186	21.6%
おしごと三重	114	13.2%
美し国おこし	277	32.2%
市町イベント	393	45.6%
県イベント	294	34.1%

県からのお知らせ	136	15.8%
4こま漫画（みえ&ケン）	12	1.4%
森林づくり	63	7.3%
ふるさとの魅力	163	18.9%
地物で食育	167	19.4%
県政くらしのQ&A	80	9.3%
防災・減災の輪	94	10.9%
テレビ・ラジオ番組	17	2.0%
河南省旅めぐり	14	1.6%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture